



かわちながの 働ライフ

KAWACHINAGANO HATA-LIFE

河内長野市で働く若者の仕事と暮らし

20

生徒一人ひとりが理解し満足できる授業を
清教学園中・高等学校の村井 健太郎さん

清教学園中学校で、国語科
教諭として6年目になる村井
健太郎さん。高校時代から先生
になりたいと考え、教育専門の
大学に進学。ところが教育実習
では思うように授業ができず、
教師に向いていないのではと自
信をなくしていた時、指導教諭
の言葉に励まされます。「教育
人生の中ではうまくできたと思
えることはそれほどなくて、思
うようにいかないことはかりだ
よ」その言葉に背中を押され、
念願の教師になりました。

1年目はとにかく楽しい授業
をしようと思いましたが、今は
生徒が理解を深め高い満足感
を得てくれるような授業を目指
しています。新しい単元は生徒
が興味を持ちそうな話題から始
めたり、授業に関連したものを
持参するなど工夫しているそう
で、「ベテランの先生が気軽に授
業を見学させてくれるので勉
強になります」と語る村井さん。
日々の仕事は、授業だけでなく、
クラス運営、行事など多
岐にわたります。多感な年ご

ろの生徒に寄り添い、できるだ
け話を傾聴し、気持ちを理解
しようと心がけています。
「卒業式で生徒から手紙をも
らったり、話を聞いてくれてう
れしかったと言われると、すべ
の苦勞が報われ、最も心を動か
されます。まだまだ満足のいく
授業ができていくわけではない
ですが、いつかは生徒全員が1
回の授業で、今日はこれを学ん
だと満足できる、そんな授業が
できるようになりたいです」と
真剣な表情で語ってくれました。



取材協力

学校法人清教学園
清教学園中・高等学校
末広町623番地 (☎ 62-6828)
<https://www.seikyo.ed.jp/>

1951年創立のキリスト教主義学校。学
園生活を通じて<学び>の大切さを知り、
その喜びを体感していきます。その中で
自らの素敵な賜物に出会い、また友人た
ちと共にそれを磨き合うことで、他者の
思いを想像し自らの考えをしっかりと発信
できる力を養うことを目標としています。



旅行先で乗るロードバイクは最高です

休日は家で読書や映画を観て過ごすことが多いです。生徒が
話題にする映画はなるべくチェックします。こういうのが好き
なんだ…とうなずいたり、生徒の意外な好みもわかって面白
いです。趣味のロードバイクは大学3年生のころから乗って
います。最近ではなかなか時間がとれませんが、今年の夏休みは
友人たちと旅行し、しまなみ海道を走りました。基本的に
のんびり自転車で旅するのが好きなので、坂道をグイ
グイ上るようなことはしないのですが、滝畑ダムは人気
みたいなので一度は行きたいと思っています。

